

Ⅲ. 定量的な開示事項

（2021年3月期、2022年3月期）

● 自己資本の充実度に関する事項

イ. 信用リスクに対する所要自己資本の額

（単位：百万円）

項 目	2021年3月期		2022年3月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
【資産（オン・バランス）項目】				
現金	—	—	—	—
我が国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—
外国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—
国際決済銀行等向け	—	—	—	—
我が国の地方公共団体向け	—	—	—	—
外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—
国際開発銀行向け	—	—	—	—
地方公共団体金融機構向け	—	—	—	—
我が国の政府関係機関向け	250	10	214	8
地方三公社向け	—	—	—	—
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	1,353	54	1,864	74
法人等向け	54,842	2,193	54,637	2,185
中小企業等向け及び個人向け	58,971	2,358	61,322	2,452
抵当権付住宅ローン	3,865	154	3,268	130
不動産取得等事業向け	20,479	819	21,922	876
三月以上延滞等	264	10	379	15
取立未済手形	—	—	—	—
信用保証協会等による保証付	1,217	48	1,180	47
株式会社地域経済活性化支援機構による保証付	—	—	—	—
出資等	7,359	294	7,806	312
上記以外	3,989	159	3,594	143
証券化（オリジネーターの場合）	—	—	—	—
証券化（オリジネーター以外の場合）	—	—	—	—
複数の資産を裏付とする資産（所謂ファンド）のうち、個々の資産の把握が困難な資産	4,427	177	3,253	130
経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	126	5	112	4
他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスクアセットの額に算入されなかったものの額	—	—	—	—
資産（オン・バランス）計	157,149	6,285	159,558	6,382
【オフ・バランス取引等項目】				
法人等向け	329	13	353	14
中小企業等向け及び個人向け	126	5	138	5
不動産取得等事業向け	0	0	—	—
三月以上延滞等	—	—	—	—
上記以外	—	—	—	—
オフ・バランス取引等計	456	18	491	19
【CVAリスク相当額及び中央清算機関関係】				
CVAリスク相当額	—	—	—	—
中央清算機関関係	—	—	—	—
合 計	157,606	6,304	160,049	6,401

（注）所要自己資本額＝リスク・アセット×4%

ロ. 内部格付手法が適用される株式等エクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額
該当ありません。

ハ. リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額

2021年3月期

該当ありません。

2022年3月期

該当ありません。

二. マーケット・リスクに対する所要自己資本の額及びこのうち使用する方式ごとの額
該当ありません。

ホ. オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額 (単位：百万円)

項 目	所要自己資本額	
	2021年3月期	2022年3月期
基 礎 的 手 法	340	353

ヘ. 総所要自己資本額 (単位：百万円)

項 目	2021年3月期	2022年3月期
信 用 リ ス ク (標準的手法)	6,304	6,401
オペレーショナル・リスク (基礎的手法)	340	353
総 所 要 自 己 資 本 額	6,644	6,755

バーゼルⅢ（第3の柱）に基づく開示事項

●信用リスク（リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く。）に関する事項

※期中平均残高は、期末残高から大幅に乖離していないため、記載しておりません。

イ. 信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高及びエクスポージャーの主な種類別の内訳

ロ. 信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの額及びそれらのエクスポージャーの主な種類別の内訳

(1) 地域別、(2) 業種別又は取引相手の別、(3) 残存期間別

ハ. 三月以上延滞エクスポージャーの期末残高又はデフォルトしたエクスポージャーの期末残高及びこれらの次に掲げる区分ごとの額

(1) 地域別、(2) 業種別又は取引相手の別

信用リスクに関するエクスポージャー及び三月以上延滞エクスポージャーの期末残高

(単位：百万円)

		信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高							
				貸出金等、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引		債 券		三月以上延滞エクスポージャーの期末残高	
		2021年3月期	2022年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2021年3月期	2022年3月期
地 域 別	国 内 計	281,876	278,515	196,498	195,693	39,586	40,072	280	558
	国 外 計	—	—	—	—	—	—	—	—
	地 域 別 計	281,876	278,515	196,498	195,693	39,586	40,072	280	558
業 種 別	製 造 業	9,845	10,334	7,483	7,876	2,352	2,453	9	4
	農 業、 林 業	1,422	1,532	1,422	1,532	—	—	0	—
	漁 業	415	436	415	436	—	—	—	—
	鉱業、採石業、砂利採取業	50	48	50	48	—	—	—	—
	建 設 業	18,083	17,987	17,369	17,315	704	586	9	85
	電気・ガス・熱供給・水道業	17,295	18,040	13,859	14,324	3,435	3,710	—	5
	情 報 通 信 業	1,876	1,726	757	712	1,117	1,009	0	5
	運 輸 業、 郵 便 業	5,108	5,478	4,314	4,384	793	1,094	—	—
	卸 売 業、 小 売 業	15,392	15,666	13,803	14,144	1,512	1,407	77	114
	金 融 業、 保 険 業	16,117	14,938	2,053	2,107	14,064	12,830	—	—
	不動産業、物品賃貸業	56,829	58,092	53,922	55,013	2,869	2,907	37	170
	各種サービス業	35,674	36,573	35,302	35,772	285	685	85	115
	国・地方公共団体	26,964	25,207	14,513	11,820	12,451	13,386	—	—
	個 人	31,289	30,262	31,229	30,204	—	—	60	58
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—
業 種 別 計		236,365	236,325	196,498	195,693	39,586	40,072	280	558
残 高 合 計		281,876	278,515	196,498	195,693	39,586	40,072	280	558
残 存 期 間 別	1 年 以 下	24,248	35,564	21,709	25,902	2,377	9,334	161	326
	1 年 超 3 年 以 下	31,064	30,227	13,469	13,238	17,556	16,976	37	12
	3 年 超 5 年 以 下	27,204	18,506	16,667	14,223	10,513	4,264	22	18
	5 年 超 7 年 以 下	15,961	15,375	13,361	13,655	2,589	1,702	10	17
	7 年 超 10 年 以 下	38,662	37,901	36,990	35,926	1,672	1,965	—	10
	10 年 超	98,789	98,337	93,864	92,335	4,877	5,828	47	173
	期限の定めのないもの	433	410	433	410	—	—	0	0
	そ の 他 (区 分 な し)	45,511	42,190	—	—	—	—	—	—
	残 存 期 間 別 計	281,876	278,515	196,498	195,693	39,586	40,072	280	558

(注) 1. オフ・バランス取引はデリバティブ取引を除いております。

2. 「三月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から3か月以上延滞しているエクスポージャー、又は引当金勘案前でリスク・ウェイトが150%以上であるエクスポージャー。

3. 政府保証債、公社公団債は金融業、保険業に区分。

コンプライアンス
(法令等遵守)

リスク管理

地域密着型金融
の取り組み状況

事業の概況

主要な業務
の内容

役員一覧・
組織図

資本・株式・
従業員の状況

財務諸表

損益の状況

営業の状況

各種経営指標

バーゼルⅢ
(第3の柱)に
基づく開示事項

報酬等に
関する開示事項

店舗
A T M
一覧

バーゼルⅢ（第3の柱）に基づく開示事項

二. 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中増減額

(単位：百万円)

		期 首 残 高	当期増加額	当期減少額		期 末 残 高
				目 的 使 用	そ の 他	
一 般 貸 倒 引 当 金	2021年3月期	1,783	1,778	—	1,783	1,778
	2022年3月期	1,778	1,839	—	1,778	1,839
個 別 貸 倒 引 当 金	2021年3月期	1,103	1,424	150	953	1,424
	2022年3月期	1,424	1,689	130	1,293	1,689
合 計	2021年3月期	2,887	3,203	150	2,736	3,203
	2022年3月期	3,203	3,529	130	3,072	3,529

(注) 当期減少額(その他)欄に記載の減少額は、それぞれ次の理由によるものであります。

一般貸倒引当金…洗替による取崩(2021年3月期・2022年3月期)

個別貸倒引当金… // (2021年3月期・2022年3月期)

(一般貸倒引当金の地域別、業種別内訳)

一般貸倒引当金については、地域別・業種別ごとに算定を行っていないため、開示しておりません。

(個別貸倒引当金の地域別、業種別内訳) (単位：百万円)

	期 末 残 高	
	2021年3月期	2022年3月期
国 内 計	1,424	1,689
国 外 計	—	—
地 域 別 計	1,424	1,689
製 造 業	170	152
農 業、林 業	10	10
漁 業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建 設 業	20	114
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—
情 報 通 信 業	0	5
運 輸 業、郵 便 業	86	91
卸 売 業、小 売 業	563	661
金 融 業、保 険 業	—	—
不動産業、物品賃貸業	54	90
各 種 サ ー ビ ス 業	501	544
国・地方公共団体	—	—
個 人	17	19
そ の 他	—	—
業 種 別 計	1,424	1,689

ホ. 業種別又は取引相手の別の貸出金償却の額 (単位：百万円)

	貸出金償却	
	2021年3月期	2022年3月期
製 造 業	—	—
農 業、林 業	—	—
漁 業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建 設 業	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—
情 報 通 信 業	—	—
運 輸 業、郵 便 業	—	—
卸 売 業、小 売 業	—	—
金 融 業、保 険 業	—	—
不動産業、物品賃貸業	—	—
各 種 サ ー ビ ス 業	—	—
国・地方公共団体	—	—
個 人	—	—
そ の 他	—	—
業 種 別 計	—	—

ヘ. 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果 を勘案した後の残高

(単位：百万円)

	信用リスク削減手法勘案後のエクスポージャーの額			
	格 付 適 用		格 付 不 適 用	
	2021年3月期	2022年3月期	2021年3月期	2022年3月期
0%	550	438	62,208	56,136
10%	194	195	14,429	13,715
20%	3,300	2,797	3,670	6,723
35%	—	—	11,045	9,338
50%	9,571	10,649	17	74
75%	—	—	78,797	81,948
100%	5,017	4,641	76,410	77,390
120%	—	—	115	201
150%	—	—	137	228
250%	—	—	486	425
350%	—	—	—	—
1,250%	—	—	—	—
その他(区分なし)	—	—	10,292	9,036
合 計	18,634	18,723	257,610	255,218

(注) 1. 「格付適用」とは、リスク・ウェイト算定にあたり、格付を適用しているエクスポージャーであり、「格付不適用」とは、格付を適用していないエクスポージャー。なお、格付は適格格付機関が付与しているものに限り、ます。

2. 「格付適用」エクスポージャーには、原債務者の格付を適用しているエクスポージャーに加え、保証人の格付を適用しているエクスポージャーや、ソブリン格付に準拠したリスク・ウェイトを適用しているエクスポージャーが含まれます。

バーゼルⅢ（第3の柱）に基づく開示事項

●信用リスク削減手法に関する事項

- イ. 標準的手法又は基礎的内部格付手法が適用されるポートフォリオについて、次に掲げる信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額
標準的手法 (単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
適格金融資産担保が適用されたエクスポージャー	508	438

- ロ. 標準的手法又は内部格付手法が適用されるポートフォリオについて、保証又はクレジット・デリバティブが適用されたエクスポージャーの額
標準的手法 (単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
保証又はクレジット・デリバティブが適用されたエクスポージャー	—	—

●派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

- イ. 与信相当額の算出に用いる方式
該当ありません。
- ロ. グロス再構築コストの額（零を下回らないものに限る。）の合計額
該当ありません。
- ハ. 担保による信用リスク削減手法の効果を勘案する前の与信相当額（派生商品取引にあっては、取引の区分ごとの与信相当額を含む。）
該当ありません。
- ニ. ロ.に掲げる合計額及びグロスのアドオンの合計額からハ.に掲げる額を差し引いた額（カレント・エクスポージャー方式を用いる場合に限る。）
該当ありません。
- ホ. 担保の種類別の額
該当ありません。
- ヘ. 担保による信用リスク削減手法の効果を勘案した後の与信相当額
該当ありません。
- ト. 与信相当額算出の対象となるクレジット・デリバティブの想定元本額をクレジット・デリバティブの種類別、かつ、プロテクションの購入又は提供の別に区分した額
該当ありません。
- チ. 信用リスク削減手法の効果を勘案するために用いているクレジット・デリバティブの想定元本額
該当ありません。

●証券化エクスポージャーに関する事項

- イ. 銀行がオリジネーターである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項
該当ありません。
- ロ. 銀行が投資家である場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項
該当ありません。
- ハ. 銀行がオリジネーターである場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項
該当ありません。
- ニ. 銀行が投資家である場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項
該当ありません。

バーゼルⅢ（第3の柱）に基づく開示事項

●マーケット・リスクに関する事項

該当ありません。

●出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項

イ. 貸借対照表計上額、時価及び次に掲げる事項に係る貸借対照表計上額

(1) 上場している出資等又は株式等エクスポージャー（以下「上場株式等エクスポージャー」という。）

(2) 上場株式等エクスポージャーに該当しない出資等又は株式等エクスポージャー

(単位：百万円)

	2021年3月期 貸借対照表計上額	2022年3月期 貸借対照表計上額
上場株式等エクスポージャー	9,852	9,636
上場株式等エクスポージャーに該当しない出資等又は株式等エクスポージャー	148	148
合 計	10,000	9,784

ロ. 出資等又は株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
売却損益額	249	162
償却額	28	—

ハ. 貸借対照表で認識され損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
貸借対照表で認識され損益計算書で認識されない評価損益の額	2,645	1,984

二. 貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額

該当ありません。

ホ. 株式等エクスポージャーのポートフォリオの区分ごとの額

該当ありません。

●リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額

2021年3月期

該当ありません。

2022年3月期

該当ありません。

●金利リスクに関する事項

IRRBB 1：金利リスク

(単位：百万円)

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		△EVE		△NII	
		当期末	前期末	当期末	前期末
1	上方パラレルシフト	1,734	2,230	125	84
2	下方パラレルシフト	0	0	0	0
3	スティープ化	2,098	2,348		
4	フラット化	0	0		
5	短期金利上昇	0	826		
6	短期金利低下	0	0		
7	最大値	2,098	2,348	125	84
		ホ		ヘ	
		当期末		前期末	
8	自己資本の額	14,668		14,032	